

新規採用・削除医薬品等通知

新規採用医薬品通知

| (薬品名) | ビレーズトリエアロスフィア 56 吸入 | 市販直後調査: 2019 年 9 月 ~ 2020 年 3 月 |
|----------|---|---------------------------------|
| (英名) | BREZTRI AEROSPHERE 56inhalations | |
| (規格・含有量) | 1 回噴霧量(送達量): ブデソニド: 160 μ g グリコピロニウム臭化物: 9.0 μ g(グリコピロニウムとして 7.2 μ g) ホルモテロールフマル酸塩水和物: 5.0 μ g(ホルモテロールフマル酸塩として 4.8 μ g) | |
| (一般名) | ブデソニド/グリコピロニウム臭化物/ホルモテロールフマル酸塩水和物製剤 | |
| (メーカー名) | アストラゼネカ | |
| 【薬価収載日】 | 2019 年 9 月 | |
| 【薬価】 | 4,150.30 円 | |
| 【薬効コード】 | 87229 | |
| 【薬効分類名】 | COPD 治療配合剤 | |
| 効能・効果 | 慢性閉塞性肺疾患(慢性気管支炎、肺気腫)の諸症状の緩解(吸入ステロイド剤、長時間作用性吸入抗コリン剤及び長時間作用性吸入 β 2 刺激剤の併用が必要な場合) | |
| 用法・用量 | 通常、成人には、1回2吸入(ブデソニドとして320 μ g、グリコピロニウムとして14.4 μ g、ホルモテロールフマル酸塩として9.6 μ g)を1日2回吸入投与する。 | |
| 禁忌 | 1 閉塞隅角緑内障の患者[抗コリン作用により、眼圧が上昇し症状を増悪させるおそれがある。] 2 前立腺肥大等による排尿障害がある患者[抗コリン作用により、尿閉を誘発するおそれがある。] 3 有効な抗菌剤の存在しない感染症、深在性真菌症の患者[ステロイドの作用により症状を増悪するおそれがある。] 4 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 | |
| 相互作用 | 本剤作用増強 CYP3A4 阻害剤: イトラコナゾール等、 不整脈、場合によっては心停止を起こすおそれがある カテコールアミン: アドレナリン、イソプレナリン等 本剤作用減弱 β 遮断剤: アテノロール等 低カリウム血症による不整脈を起こすおそれがある キサンチン誘導体: テオフィリン、アミノフィリン等 全身性ステロイド剤: プレドニゾン、ベタメタゾン等 利尿剤: フロセミド等 QT 間隔が延長され心室性不整脈等のリスクが増大するおそれがある QT 間隔延長を起こすことが知られている薬剤: 抗不整脈剤 キニジン プロカインアミド ジソピラミド等 三環系抗うつ剤等 イミプラミン等 | |
| 副作用 | 重大な副作用 心房細動、重篤な血清カリウム値の低下 | |

| | | |
|----------|---|------------------------|
| (薬品名) | ビベスピエアロスフィア 28 吸入 | 市販直後調査:2019年9月~2020年3月 |
| (英名) | BEVESPI AEROSPHERE 28 inhalations | |
| (規格・含有量) | 1回噴霧量(送達量):グリコピロニウム臭化物 9.0 μ g(グリコピロニウムとして 7.2 μ g) ホルモテロールフマル酸塩水和物 5.0 μ g(ホルモテロールフマル酸塩として 4.8 μ g) | |
| (一般名) | グリコピロニウム臭化物、ホルモテロールフマル酸塩水和物 | |
| (メーカー名) | アストラゼネカ | |
| 【薬価収載日】 | 2019年9月 | |
| 【薬価】 | 1,787.00円 | |
| 【薬効コード】 | 872259 | |
| 【薬効分類名】 | COPD 治療配合剤 | |
| 効能・効果 | 慢性閉塞性肺疾患(慢性気管支炎、肺気腫)の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解(長時間作用性吸入抗コリン剤及び長時間作用性吸入 β 2刺激剤の併用が必要な場合) | |
| 用法・用量 | 通常、成人には、1回2吸入(グリコピロニウムとして14.4 μ g、ホルモテロールフマル酸塩として9.6 μ g)を1日2回吸入投与する。 | |
| 禁忌 | <ol style="list-style-type: none"> 1 閉塞隅角緑内障の患者[抗コリン作用により、眼圧が上昇し症状を増悪させるおそれがある。] 2 前立腺肥大等による排尿障害がある患者[抗コリン作用により、尿閉を誘発するおそれがある。] 3 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 | |
| 相互作用 | 不整脈、場合によっては心停止を起こすおそれがある カテコールアミン:アドレナリン、イソプレナリン等 本剤作用減弱 β 遮断剤:アテノロール等 低カリウム血症による不整脈を起こすおそれがある キサンチン誘導体:テオフィリン、アミノフィリン等 全身性ステロイド剤:プレドニゾン、ベタメタゾン等 利尿剤:フロセミド等 QT 間隔が延長され心室性不整脈等のリスクが増大するおそれがある QT 間隔延長を起こすことが知られている薬剤:抗不整脈剤 キニジン プロカインアミド ジソピラミド等 三環系抗うつ剤等 イミプラミン等 | |
| 副作用 | 重大な副作用 心房細動、重篤な血清カリウム値の低下 | |

後発医薬品採用通知

| 今回採用医薬品(採用) | 従来採用医薬品(削除) |
|---|--|
| <p>●<u>11月1日より</u></p> <p>ドキサゾシン錠 1mg「トーワ」</p> <p>ドキサゾシン錠 4mg「トーワ」</p> <p>ロフラゼブ酸エチル錠 1mg「SN」</p> <p>プラバスタチンナトリウム錠 10mg「日医工」</p> <p>レバミピド錠 100mg「オーツカ」</p> | <p>カルデナリン錠 1mg</p> <p>カルデナリン錠 4mg</p> <p>メイラックス錠 1mg</p> <p>メバロチン錠 10</p> <p>ムコスタ錠 100mg</p> |

削除医薬品通知

| |
|--|
| <p>●<u>11月1日より</u></p> <p>アルミノニッパスカルシウム顆粒 99% 11/1 削除</p> <p>ノイアップ注 50 11/1 削除</p> |
|--|

販売中止に伴う医薬品変更通知

| 今回採用医薬品(採用) | 従来採用医薬品(削除) |
|---|----------------------|
| <p>●11月1日より</p> <p>ジピリダモール静注液 10mg「日医工」</p> | <p>ペルサンチン静注 10mg</p> |

